

第17回日本内分泌病理学会学術総会

17th Annual Meeting of the Japan Endocrine Pathology Society

日時： 2013年10月4日（金）～10月5日（土）

会場： 関内新井ホール（関内新井ビルディング11F）

横浜市中区尾上町1-8 TEL：045-681-6763

会長： 方波見卓行

（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 代謝・内分泌内科）

演題登録期間：~~2013年5月27日（月）～2013年7月5日（金）~~

演題募集は締め切らせていただきました。

第17回日本内分泌病理学会学術総会のご案内と演題募集

この度、第17回日本内分泌病理学会（JEPS）学術総会をお世話させていただきますことを大変光栄に存じます。2013年10月4日（金）、5日（土）に横浜市の関内新井ホールにおいて「Significance of cross talk between clinician and pathologists」をテーマに開催致します。

今回は臨床医の先生方、あるいは今後病理専門医取得を目指しておられる先生方に内分泌病理の基本を徹底的に勉強していただくため、「内分泌病理入門コース」を6題（病理総論、免疫組織化学組織染色の意義と使い分け、各論：副腎疾患、下垂体疾患、甲状腺疾患、神経内分泌腫瘍）企画いたしました（*非学会員の方の参加は学会入会が条件となります）。

また、さらにこの分野の重要性とおもしろさを基礎、内科、外科の立場からお話しいただく教育講演を3名の先生（長村義之先生、成瀬光栄先生、山田正三先生）にお願いし、ご参加いただいた方々の明日からの診療水準向上と研究のヒントが提供できる良い機会となりますよう鋭意準備に励んでおります。

いうまでもございませんが、皆様から応募いただきます一般演題の充実なしに学会の進歩、成功はありえません。先生方の症例報告、研究発表を心よりお待ち申し上げます。例年通り日本内分泌病理学会最優秀賞（Distinguished Investigator Award of JEPS）、奨励賞（JEPS Young Investigator Award）の公募に加えて、当学術総会会長として優秀症例報告賞（Distinguished Case Report of JEP）を授与いたしますので、奮ってご応募下さい。なお参加者は専門医の単位（日本内分泌学会専門医5単位、日本病理学会専門医5単位）を取得することが可能です。

会場は横浜市の中心部に位置し、JR京浜東北線、横浜市営地下鉄ブルーライン（ともに関内駅下車、会場まで徒歩5分以内）、東横線・みなとみらい線（日本大通り駅下車、会場まで徒歩10分以内）の利用がいずれも可能です。

1. 抄録提出要領

一般演題と症例演題を公募いたします。演題の筆頭演者は日本内分泌病理学会の会員であることが必要ですので、非会員の場合は入会をお願いします。

入会手続きは日本内分泌病理学会HP(<http://www.nacos.com/jeps/admission.html>)をご覧ください。

2. 提出書類

当学会は一般社団法人日本内分泌学会の分科会であり、一般演題も症例演題も日本内分泌学会雑誌分科会抄録集に掲載される抄録と、日本内分泌病理学会学術総会プログラム集に掲載される抄録の2種類の抄録原稿が必要です。詳細は下記をご参照下さい。また、抄録原稿の提出はすべて演題登録ページよりお願いいたします。本ホームページの「5.演題登録ページ」よりアクセスをお願いいたします。

3. 抄録提出期限

~~締切日：2013年7月5日(金) 16日(火)まで延長しました。~~

演題募集は締め切らせていただきました。多数のご応募を頂き、誠にありがとうございました。

提出期限は学会誌に掲載する都合上、厳守をお願いいたします。

4. 抄録原稿作成要綱

1) 「日本内分泌学会雑誌分科会抄録集」用の抄録原稿

- a) 一般演題、症例演題、教育講演とも800字以内。写真などを加えることはできません。
- b) Word 文書で作成し、添付文書でご登録下さい
- c) 1行目に演題名、2行目以降に氏名・所属を記載し、1行あけて抄録本文を記入してください。

2) 「第17回日本内分泌病理学会学術総会プログラム抄録集」用の抄録原稿

- a) 一般演題は900字以内、症例演題と教育講演は1800字以内。症例演題は図表、写真の添付が可能です。図表、写真はB5版の1ページに収まる枚数とし、jpgファイル、全体で2M以内になるようにして下さい。
- b)、c) の記入要領は1)と同様です。

3) 日本内分泌病理学会研究賞について

日本内分泌病理学会研究賞には「日本内分泌病理学会最優秀賞」、「日本内分泌病理学会奨励賞」の2つがあります。いずれも内分泌病理学に関連する臨床的あるいは基礎的研究が対象となり、年次学術総会において演題発表を行う日本内分泌病理学会の会員であり、当該年度末で40歳未満の研究者が対象となります。本学術集会では研究賞の審査は抄録に基づいて行われ、これに経歴と業績を加味することとなっております。研究賞の応募には演題抄録提出時に下記の必要書類の提出をお願いいたします。

< 研究賞応募に必要な書類 >

- (1) 意思表示 (演題登録ページにて「研究賞応募を希望する」を選択)
- (2) 簡単な経歴 (生年月日含む) と業績 (主要論文等)

* 優秀症例報告賞については特に必要な書類はございませんが、演者または共同演者の授賞式 (会終了時) 参加が条件となります。

5. 演題登録ページ

下記ページにアクセス頂き、演題登録をお願いいたします。

<https://www.e-naf.jp/meeting/ENAF/jeps17/member/>

6. 参加の事前登録

参加費：

会員 ; 一般 6,000円 (9/1以降 7,000円) 、大学院学生 3,000円 (9/1以降 4,000円)

非会員 ; 一般 10,000円 (9/1以降 11,000円) 、大学院学生 5,000円 (9/1以降 6,000円)

* 非学会員の内分泌入門コース参加は本学会への入会が条件となります。

入会手続きは日本内分泌病理学会HP(<http://www.nacos.com/jeps/admission.html>)をご覧ください。

研修医、医学部学生 ; 無料ですが、必ず参加証を受け取り、会期中はご着用ください。

※ 9/1以降も申込みは可能ですが参加費が変更になります

事前登録の方法は後日、ホームページ上でご案内致します

<お問合せ先>

第 17 回日本内分泌病理学会学術総会 運営事務局

(株) J T Bコーポレートセールス

第二事業部 営業三課

担当 : 松井

jeps17@bwt.jtb.jp

TEL:03-5909-8118 (平日 9 : 00 ~ 17 : 30)